



スーパーGT 第6戦 2022年9月17-18日 スポーツランドSUGO



## 予選 7th / 決勝 18th

鈴鹿大会で生じたマシンの不具合を修正して挑んだ菅生大会。今回は、大型の台風が接近したことで、全国的に天候が乱れレース中も急な天候変化に翻弄。戦略の意図とは逆方向の流れが続き、決勝は18位。チャンピオンシップには苦しい結果になりました。

たくさんの応援、ありがとうございました。



### <予選>

予選はAグループ。公式練習でも苦戦する中、Q1は吉田選手が担当。他車がタイムを刻む中、ギリギリの8位でQ1を突破。コース幅の狭い菅生では上位でスタートすることが必須です。任されたQ2では上位への食い込みを目指し何とか8位。その後、トップのタイム抹消があったことで、7位に繰上がりました。

### <決勝>

決勝日、スタート前までは晴れており全車ドライでコースイン。スタートドライバーを担当。スタート直後に雨が降りめコース全体がウェットに。ブリヂストンタイヤの特性上、ペースを上げらず苦しい状況になりました。雨が強くなったため、チームの早い判断で、ウェットタイヤに交換。復帰後は順調に走行し、6位までポジションアップ。一方で雨は徐々に減っていき、選択したタイヤのコンパウンドと



内圧が合わなくなりペースは上がりずポジションキープ。43周で吉田選手にドライバー交代。この後も天候は落ち着かず、雨脚が強くなりスピン。トップとは2週の周回遅れになりました。後半にかけて雨が止み、路面状況が回復。再度ピットに入りドライタイヤに交換。18位でチェッカーを受けました。

ドライを想定したセッティングから、天候変化を受けてピットインなど細かい戦略を立てたものの、予想とは異なる方向に終始。残念ながら順位を下げる結果になってしまいました。たくさんのご支援と応援をいただき、ありがとうございました。

次戦は10/1-2オートポリスです。スーパーGTはあと2大会。万全の態勢で挑みます。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。